

受贈記念小企画展

今井兼次 不死鳥のモザイク

細部に宿る、造形の魂

日本に欧米の芸術家、特にアントニオ・ガウディを紹介したことで知られる今井兼次は、情熱を注いで創作に取り組んだ建築家で、精神性の高い作品を残しています。作品の数は決して多くありませんが、一部の建築は、その魅力にひかれた人々が補修し、蘇らせ、時には断片的に残して今に伝えてきました。

2018年度、モザイクタイルミュージアムは、大阪商工信用金庫より、旧本町ビルディング屋上に施工されていた作品の断片を受贈いたしました。これは、今井兼次が「フェニックス・モザイク」と呼ぶ手法によって製作した、高さ約12m、幅約18m、奥行きも2.5mを超える大作「糸車の幻想」の左上に位置していた「織女星（おりひめ）」の部分です。ビルの跡地には、安藤忠雄の設計により大阪商工信用金庫本店ビルが新築され、最新技術を駆使して「糸車の幻想」が再制作されましたが、今井の手掛けた当初の部分として残されたのは、この「織女星」と、再制作のためのサンプルとして各所から取り外された陶片（当館寄託）を含め、ごくわずかとなりました。

本展は、この「糸車の幻想」にまつわる経緯を中心に、今井兼次の作品の中から大多喜町役場、東洋女子短期大学の「フェニックス・モザイク」、名古屋テレビ塔などにも触れながら、豊かな感性と合理性を併せ持つその魅力を伝えようとするものです。

主催：多治見市モザイクタイルミュージアム

会期：令和元年9月14日(土)～令和2年1月13日(月・祝)

休館日 月曜日（休日の場合は翌平日）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

主催 多治見市モザイクタイルミュージアム

観覧料 一般310円、団体250円

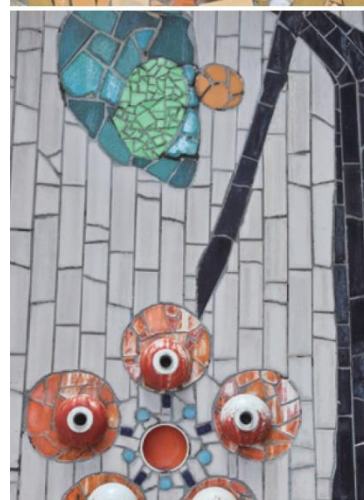
（一般の方は9月30日までは300円でご覧いただけます）

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

出品点数 20～30点（期間中展示替えあり）

キャッチコピー 細部に宿る、造形の魂

上、下 旧本町ビルディング「糸車の幻想」部分
中 大多喜町役場「ペントハウス」東壁部分





旧本町ビルディング「糸車の幻想」
「織女星」部分現状（笠原町 神戸・栄記念公園）

見どころ

1. 大阪・旧本町ビルディング屋上に据えられていた今井兼次作「糸車の幻想」の一部が寄贈されたことを記念する企画展。
2. 今井兼次は、還暦を過ぎてからの作品の中で、タイルなどの建材とともに、使われなくなった食器、火鉢といった廃材を建築の装飾としてよみがえらせ、「フェニックス・モザイク」と名付けています。本展では、旧本町ビルから取り外されたタイル、陶片等の実物もご紹介。その思いは、タイルを集めてその価値を伝えようとする当館の理念にもつながります。
3. 大阪商工信用金庫、竹中工務店の協力により、安藤忠雄設計による大阪商工信用金庫本店ビル2階屋上に再現された「糸車の幻想」の3D映像や、模型なども展示します。
4. その他、今井兼次がかかわった建築作品として千葉県の大多喜町役場、東京の東洋学園大学などのフェニックス・モザイク、そして名古屋テレビ塔との意外な関わりもご紹介いたします。

関連企画

11月30日（土） 講演会「時間と空間を紡ぐこと」 講師 千葉学（建築家・東京大学大学院教授）

12月15日（日） ワークショップ「名古屋テレビ塔を作ってみよう！」 講師 筧清澄／村瀬良太

お問合せ先

多治見市モザイクタイルミュージアム（担当 村山）

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp>

※広報・取材にご協力をお願いします※